

TAKE FREE

ご自由にお持ち
帰りください

地域と病院をむすぶネットワーク情報誌

みやのわ

No. 44

2014.7
SUMMER
夏号



特集

超音波検査の実際
診断から治療まで～造影超音波検査を含めて～
超音波診断科 植林 久美子

01

医療機器めぐり 05

病院情報

意外と知らない車いすの使い方
やくくすり
薬に立つ！薬のあれこれ 07

栄養シリーズ 季節の素材で 医食同源れしび 08

リレーインタビュー 笑顔のマイ★スター 09

News みやのわ情報局 11

Information 訪問看護ステーションほっとNEWS…ほか 13

リレーエッセイ 薬剤部長 小林 義美 14

～愛情スパイスが隠し味～

医療栄養科では、一人でも多くの患者さまに、「食べる喜びが、生きる力へ」を感じて頂きたいと思い、衛生面に配慮し、安全・安心な食事を提供することを目標にしています。そして、何よりも美味しく、喜んで召し上がって頂ける食事サービスをスタッフ一同目指しております。

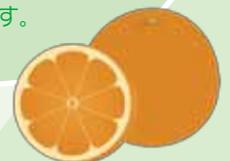
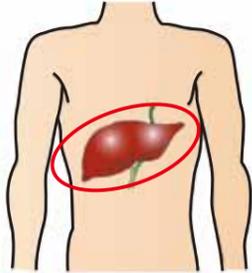
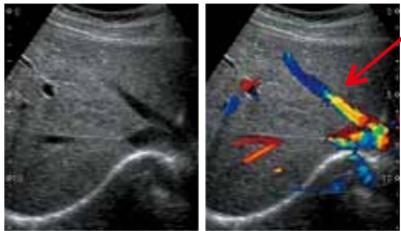
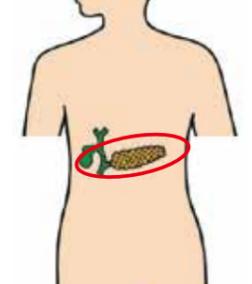
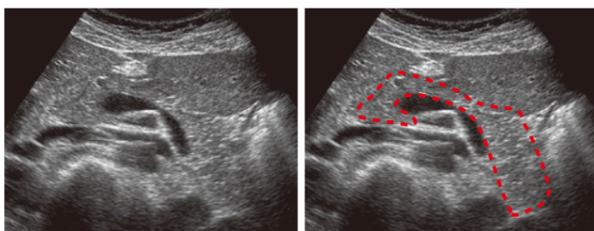
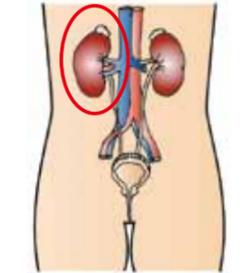
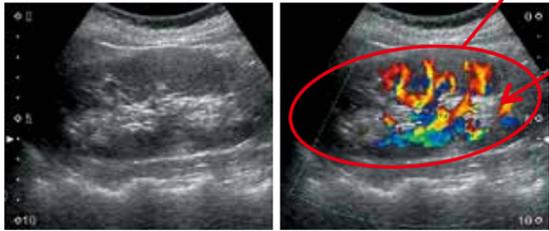


図2：腹部臓器の検査

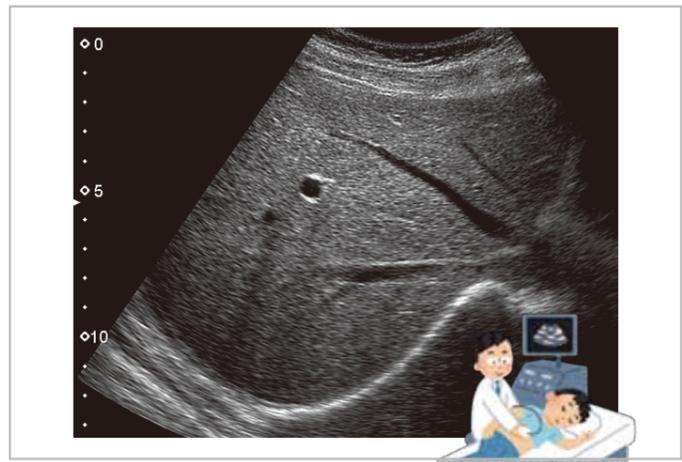
肝臓			色がついている部分は、肝静脈です。 腫瘍ができていないか観察します。
すい臓			赤い枠で囲んだ部分がすい臓です。
腎臓			赤い枠で囲んだ部分が腎臓です。 色がついた部分で、血流を確認できます。 腫瘍や結石がないか、観察します。



超音波とは、一言で言うと「人間には聞こえない高い音」です。その超音波を出して、イルカは仲間と会話したり、発した超音波が跳ね返ってくることで、エサの方向や距離を知ることができます。



図1：超音波機器で映し出される画像



特集

超音波検査の実際
診断から治療まで、造影超音波検査を含めて

超音波診断科

植林 久美子

はじめに

超音波検査では、機械から人間には聞こえない高い音を出し、体の組織に当たって跳ね返ってきた音を信号化し、画像にしています(図1)。腹部臓器(肝臓・胆のう・すい臓・腎臓など)や心臓・甲状腺・乳腺・血管などの検査に用いています(図2)。

例えば、腹部臓器の検査では、肝臓の腫瘍や胆石、胆のうポリープ、腎結石など様々な病気がわかります。他にも、心臓の機能を評価したり、甲状腺の腫瘍や乳腺の腫瘍(しこり)などを見つけるために行っています。さらに、超音波で病変を観察しながら針を刺し、細胞を採ることで、診断に役立ったり、肝臓の腫瘍を治療する際に応用したりしています。

超音波検査の利点と欠点

超音波検査には次のような利点と欠点があります。

利点

- ・痛みがなく、苦痛が少ない。
- ・放射線被ばくがないため、繰り返し検査ができる。妊婦さんや新生児にも使用できる。
- ・心臓の動きや血液の流れなど、実際に動いているものをそのまま観察できる。
- ・装置が小さく移動可能なため、どこでも使用できる。

欠点

- ・患者さまの体格や状態に左右されやすい。
- ・検査する者の技術により診断に差が生じることがある。

超音波検査の注意点は？

空気や骨があると超音波のほとんどが跳ね返されてしまい、その奥の情報を得ることが出来なくなりますが、そのため、空気の多い胃や腸が邪魔をして見えにくい場所ができてしまいます。そこで、検査を受ける際に気を付けていただきたいことがあります。

食事について

超音波検査を実施する際の注意点として、食べ物やスープ、ジュースなどをとると胆のうが小さくなり、胆のうの中が見えなくなったり、胃や腸の中の空気が多くなり、観察できない場所が多くなってしまいます(下図)。腹部超音波検査の際は、食事をせずに検査へお越しください。

トランスラミン

膀胱に尿が溜まっていないと膀胱内や前立腺、子宮の観察が困難になりますので、検査前は排尿を控えてください。

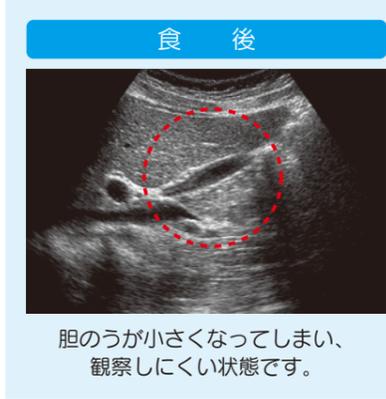


図5：ラジオ波焼灼術

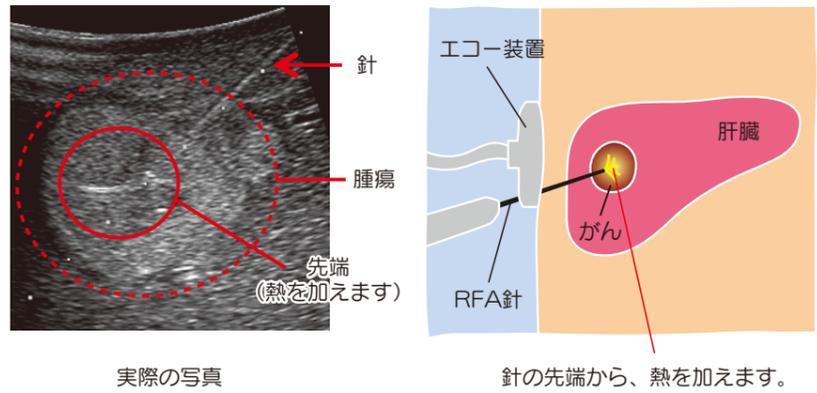
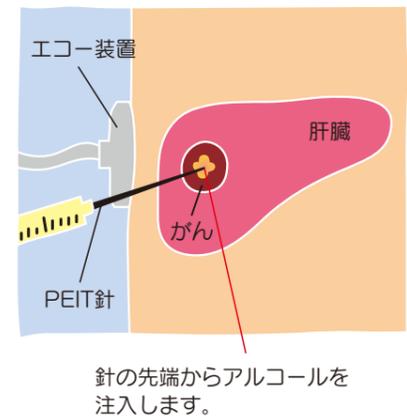


図4：PEIT (ペイト)



治療への応用

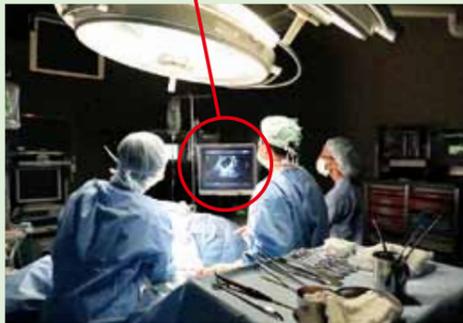
超音波の治療としてはPEIT（ペイト）：アルコールを注入して、がんを壊死させる治療（図4）や、ラジオ波焼灼術（熱を加えがんに壊死させる治療（図5））などがあります。

肝臓の腫瘍を観察しつつ、針が腫瘍に向かって進んでいく様子を確認できるため、がんに直接アルコールを注入したり、熱を加えたりして治療することができます。

また、当院では「造影超音波検査」を開腹手術の際にも役立てています。体の外側から肝臓を観察するよりも、肝臓に直接機械を当てて観察する方がより鮮明に腫瘍を映し出すことができます。

そのため、肝腫瘍と血管などの位置関係を詳しく知りたい時や、肝腫瘍の取り残しがないように造影超音波検査を実施しています（下の写真）。

手術時に、超音波機器で観察している様子



（左から）超音波診断医 外科医 検査技師

おわりに

超音波検査は診断や治療など様々なことに利用されています。

はじめに述べたように、超音波検査はどんな場所でも行えて、痛みがなく、レントゲンと違い放射線被ばくがないため繰り返し行うことができ、妊婦さんや新生児にも使用が可能な検査です。人間ドックなどの健診でも超音波検査は実施されており、病気の早期発見に大きく役立てられています。

年に1回は、きちんと健診を受けて、早期発見・早期治療を目指しましょう。

筆者紹介

超音波診断科
植林 久美子 医師
(前列右から2番目)



超音波検査外来スタッフの皆さんと



図3：造影剤を使用した超音波診断



- 造影剤を注射し、造影剤で腫瘍が染まることから、造影剤が抜けていくまでの様子を観察します。
- 造影剤の染まり方の時間変化によって、腫瘍を区別します。

	造影前	直後	1分後	10分後
肝細胞がん				
転移性肝腫瘍 (てんいせいかんしゅよう)				
肝血管腫				

画像出典元：日本超音波医学会用語・診断基準委員会 「肝腫瘍の超音波診断基準（案）」

造影超音波検査について

造影剤※を使うことで見えにくい部位を見やすくすることができ、診断に役立てることが出来ます。

現在日本で広く使われている超音波造影剤は2007年から使用されており、副作用が少ないため、CT検査やMRI検査で使用する造影剤と違って、腎臓の機能が低下している方でも使用可能です。ただ、成分に卵が含まれるため卵アレルギーの方は使用できません。

今のところ肝臓と乳腺の検査のみが国から認められており、当院でも検査を行っています。その他の部位に関してはまだ研究段階です。今回は肝臓の造影超音波検査に関して簡単に紹介します。

※ 超音波の造影剤は、ガスを赤血球よりも小さい泡にして、水に溶かしたものです。これに超音波を当てると白く見えます。造影剤を注射すると、腫瘍に取り込まれて、腫瘍が白く映し出されます。

どんなときに検査を行うの？

当院では、肝臓に腫瘍が疑われる方で、CT検査やMRI検査などの検査ができない方や、きたとしても良性的なのか悪性的なのかの判断に苦慮する場合に行っています。いくつかの検査結果を総合的に判断し、治療方針を決定していきます。

検査の方法は？

静脈の中に造影剤を注射し、腫瘍の中にとるように造影剤が入り、染まっていくかを観察し、さらに時間をおき、造影剤が腫瘍から消えていく様子を見ることで、どのような腫瘍なのかを判断します（図3）。

肝臓の悪性腫瘍は、時間をおいて観察すると黒く目立ってきますので、通常の超音波では見えないような分かりにくい病変を探することができます。

医療機器
めぐり
第二回

1階
診療放射線技術科 一般撮影室

名
より迅速に！より鮮明に！
次世代型X線撮影装置

一般撮影室では、X線を用いて胸部・腹部・四肢等のX線写真(いわゆるレントゲン)を撮影しています。

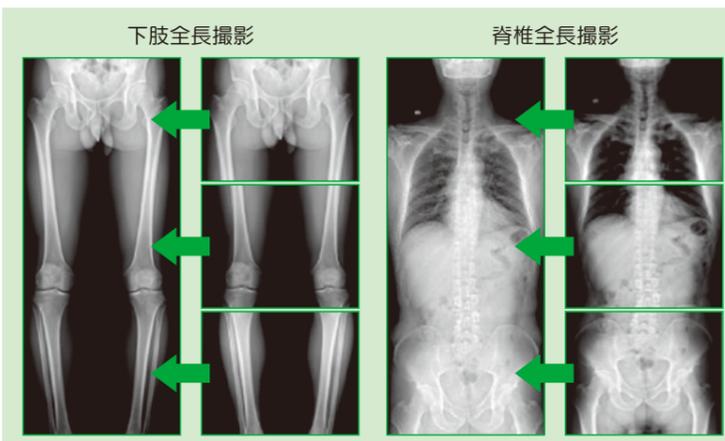
現在、一般撮影では、デジタル処理をして撮影を行っています。これはデジタルカメラを使って写真を撮るようなものです。撮影した画像は電子保存され、院内各所の診察室や病棟のコンピュータ画面を利用して観察することができます。

今回は、3月に導入された、次世代型X線撮影装置の特徴や機能についてご紹介いたします。

①脊椎全長撮影／下肢全長撮影

X線撮影は本来、パネルの大きさ分の画像しか撮影できません。しかし、脊椎や下肢などは全体を一度に観察することで、歪みやねじれ、曲りなどの診断が可能になります。

この装置では、複数回撮影した画像を一つの画像に自動でつなぎ合わせる機能があります。撮影時間も数秒で、画像も撮影後10秒位で完成します。



FLAT PANEL DETECTOR

次世代型X線撮影装置フラットパネルディテクタ

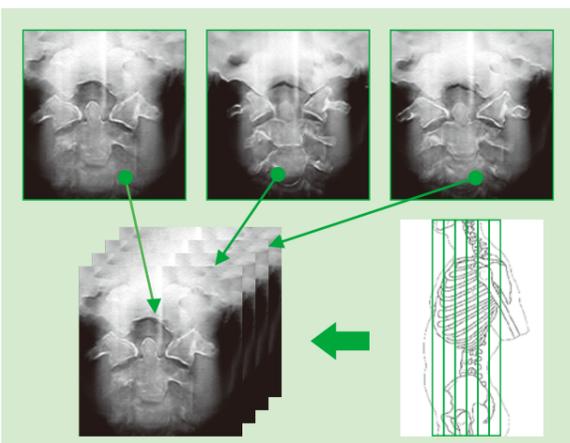


②X線断層撮影(トモシンセシス)

X線撮影は、厚みのある透過画像のため、前後に異物があると写りこんでしましますが、X線断層撮影※(トモシンセシス)は見たい高さだけを鮮明に表示することができ、前後の異物の影響を取り除くことができます。

CTも輪切りの断層撮影ですが、金属の影響を受け易いなど弱点があります。X線断層撮影は、金属の影響を受けにくい撮影です。手術をして金属が入っている場合でも接合部の観察が可能です。

※断層撮影とは、任意の断面(高さ)に焦点を合わせ、撮影する方法です。



これまで使用していた撮影装置では、X線写真の情報を読んだ記録した後に専用の装置で読み取り、デジタル画像を得ていました。難点は撮影してから画像ができるまでに数十秒かかり、すぐに画像が確認できないため、患者さまをお待たせしてしまうこともありました。

しかし、今回導入されたFPD(フラットパネルディテクタ)は、撮影後から1〜2秒で画像を確認できます。体を透過したX線をFPDで受け取り、デジタル信号に変換し、同時に画像を得ることができる優れた装置です。また、画像の解像度が高く、病変解析機能も向上し、X線利用効率があがりました。

それでは新たにどのようなことができるのか、次のページでご紹介いたします。



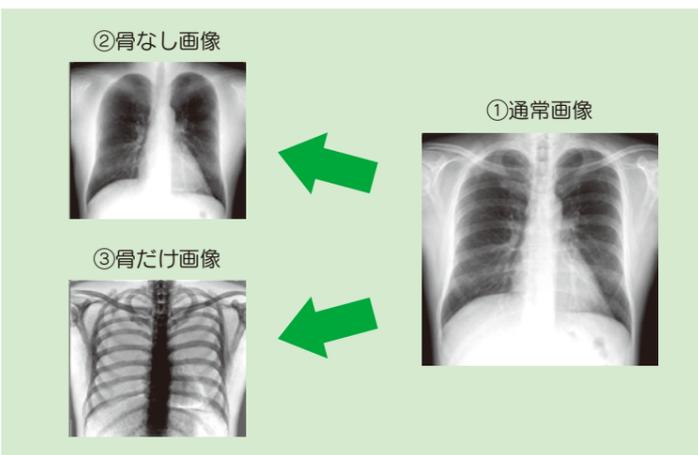
▲フラットパネル運動撮影システム

③デュアルエネルギーソフトウェア

右ページ(下部)でご説明いたしましたように人体はX線の透過率が異なるため、骨と重なる組織はなかなか見えにくくなってしまう。

この機能は、X線のエネルギーを変えて2回撮影することで、①通常画像②骨なし画像③骨だけ画像の3種類を作成することができます。

今後、診断に大きな期待が寄せられている機能です。

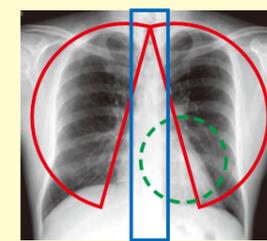


X線写真とは…?

X線撮影はX線の透過作用を利用して画像にします。人間の体は部位によって、X線の透過率が異なります。

胸部を例に挙げると、肺は大部分を空気が占めているので、X線のほとんどが透過します(①)。中央に位置する、心臓(②)や脊椎(③)はX線を多く吸収します。通り抜けたX線の量の違いによって白黒の濃度に差が出ます。

X線が多く通り抜けた部分は、黒くなり、反対に、X線があまり通り抜けなかった部分は白くなります。病気になると透過度が変わり、写真に現れます。



- ①肺：ほとんど通り抜ける
- ②心臓：少し通り抜ける
- ③脊椎：心臓や大動脈とも重なるため、ほとんど通り抜けない



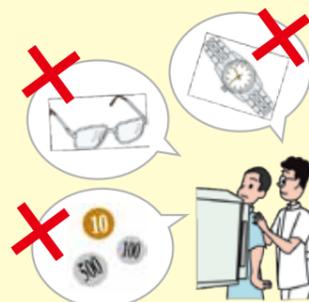
▲フラットパネルディテクタ



～診療放射線技術科からのお願い～

金属はX線の妨げになるので撮影前に必ず外していただきます。(撮影する部位によっては外さなくても大丈夫な場合もありますので、ご相談ください。)

厚手の衣類やシャツのプリント・しわ・ボタンなども写真に写ることがあるため、診断に差し障りがある場合があります。必要に応じて検査衣に着替えていただいたり、身に着けている装飾品や湿布、カイロなど診断する上で、影響があると考えられるものは、金属以外のものでも、外していただくことがあります。ご協力のほど、お願いします。





ワンポイント リハビリ

意外と知らない車いすの使い方



今回は、意外と知られていない「車いすの乗降時に注意してほしいこと」をご紹介します。車いすをご使用の際は、お気を付けください。



乗降時は必ずブレーキをかけましょう



ブレーキ



ブレーキをかけないと、車いすが動いてしまうため、大変危険です



危険!



乗降時は、フットレスト(足置き)をあげましょう



フットレスト



フットレストをさげたままだと、つまずいて転んでしまう可能性があります



危険!

危険!

薬

やく くすり に立つ! のあれこれ



FILE.2

薬の服用時間について



お薬は1日に服用する回数・量・時間等指示通りに従わないと十分な効果が得られなかったり、重い副作用が出てしまう事があります。飲む時間にはそれぞれ理由があります。解説していきましょう。

食後

食事をとってから20-30分後です。多くの薬が食後服用ですね。胃にまだ食べ物が残っており、ほどよく吸収され、飲み忘れることが少ないです。

食直後

食事をとってすぐ、5-15分後以内です。胃腸障害を起こしやすい薬や中性脂肪を下げる薬などがあります。

食前

食事をとる20-30分前です。インスリン分泌を促す薬や吐き気などを抑える薬などがあります。

食直前

食事をとる直前、5-10分前です。糖の吸収を抑える薬などがあります。

食間

食後2時間後が目安、食事と次の食事の間の時間です。腎臓の負担を軽減する炭の薬などがあります。

就寝前

お休み前の30分前に飲むのが一般的です。便の通じをよくする薬や寝つきをよくする薬などがあります。

起床時

朝起きてすぐ(食事の前)です。骨を丈夫にする薬などがあります。

季

節

の

素

材

で

医食同源れしぴ

夏野菜のさっぱり和え



今回の素材
夏野菜

暑い日が続いていますね。夏は暑さで食欲が低下しやすい季節です。また、食事も偏ってしまいがちです。そんな季節にオススメな夏野菜を使った、体を冷やす夏バテ予防レシピを紹介します。

夏野菜には、体を冷やす効果があり、さらに暑さで奪われやすいビタミンCも豊富に含まれていますので、夏風邪・夏バテ対策に良い食材です。今回はトマト・オクラ・みょうがを使ってみました。オクラ・長芋(ネバネバした食材)に含まれている成分「ムチン」には夏に弱りがちな胃の粘膜をうるおし、保護する働きがあります。また、抗ウイルス作用や老化防止の効果もあります。さらに、みょうがを使うことにより歯ざわりがよく、さわやかな香りが食欲を増進させます。

栄養たっぷりな「さっぱり和え」で、暑い夏を元気に乗り切りましょう。

夏野菜のさっぱり和え

夏は暑いので、火をあまり使わずにできる料理を紹介いたします！



材料 (4人分)

トマト	1個
長芋	100g
オクラ	6本
みょうが	1/2個
ぼん酢	大さじ2(30cc)
塩	適量
(板ずり・下茹で用)	

●●お好みで●●

いりごま(白)	少々
ちりめんじゃこ	適量

《1人分あたり栄養素》
エネルギー 38kcal

1 オクラはへたの部分を取り、塩をふり、板ずりをし、流水で洗います。



2 鍋にお湯を沸かし、沸騰したら、塩(少々)とオクラを入れて茹でます。茹であがったオクラはザルにあげ、流水で冷やします。



3 トマト・長芋・オクラは1cm角に切り、みょうがは細かく切っておきます。



4 **3**をボールに入れ、ぼん酢大さじ2を加え混ぜます。



5 器に盛り付けます。(いりごまやちりめんじゃこを上にも盛るのもオススメです。)



和え物としてだけでなく、豆腐にのせたり、うどんにかけて食べてもおいしいですよ！



眼位検査では眼が正しい位置にあるかを検査します。



大型弱視鏡を使った斜視検査の様子。小児の患者さまに使用することが多いです。

斜視弱視外来について



TST (Titmus stereo test) テストの様子。近くの距離での立体視(遠近感)を検査します。

当院では、週1回(毎週木曜日の午後)、斜視弱視外来を設けております。斜視とは、1つの眼が正しい目標物を見ているのに対し、もう一方の眼が目標物とは別のところを見ている状態です。症状としては物が二重に見える複視現象が生じます。治療法は特殊なプリズムレンズを使用した方法や手術を検討します。弱視とは、眼鏡などで矯正をしても視力が向上しない目の状態をいいます。視力の成長過程にあるお子さまの場合、適切な時期に適切な治療を受けることで視力の向上が望める場合があります。早期発見、早期治療が非常に大切です。

川侯さんのある日のスケジュール

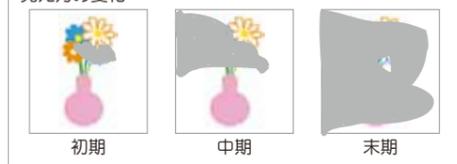


8:00	出勤、準備
8:30	午前外来 視力検査、眼圧検査、 眼底撮影、白内障術前検査など
12:30	休憩
13:30	午後外来 斜視弱視検査、視野検査など
17:30	退勤

※緑内障とは…

目から入ってきた情報を脳に伝達する視神経という器官に障害が起こり、視野(見える範囲)が狭くなる病気のことで、治療が遅れると失明に至ることもあります。

見え方の変化



マイ★スターに一問一答!



かわまた ゆか 川侯 友佳 さん

Q. この職種を目指したきっかけは何ですか?
A. 大好きな祖母が緑内障※を患い、病に対する不安や辛さをよく耳にするようになりました。私自身、眼科を受診したことがなく、眼に対しての不自覚を感じたことはありませんでした。色々調べると、うちに祖母のように眼の病気で苦しむ人がたくさんいることを知りました。そして「祖母のように苦しむ人に関わり、何か力になりたい」とい

う気持ち芽生えたのがきっかけでした。
Q. 趣味は何ですか?
A. 旅行、買い物、食べることなどいろいろありますが、特にダンスで人を楽しませることが大好きです。
Q. 気分転換したいときはどうしていますか?
A. 友達と出かけたり犬と散歩したりします。
Q. 今後の目標・意気込みをどうぞ!
A. 不安を抱える患者さまの力になり、信頼される視能訓練士になりたいです。尊敬する先輩方の背中を追って、日々前進できるように全力で頑張ります。

シリーズ第3回 視能訓練課

Group photo

今回は、視能訓練士として眼科外来に勤務する川侯さんにお話をうかがいました!



●●職員紹介●●

塚原 伸行 中山 恵美子 川侯 友佳 斎藤 啓太



視能訓練士とは?

はじめに、「視能訓練士って何?」「どんな仕事をしている人なの?」といった疑問を持たれる方がいらっしゃると思います。視能訓練士とは昭和46年に制定された「視能訓練士法」という法律に基づく国家資格をもった医療技術者です。

当院には現在4名の視能訓練士がおり、1階の眼科外来にて勤務しております。

当院での役割は?

私たち視能訓練士は、当院の医療技術部の一員として、眼科医師や看護師、他科との連携をとりながら患者さまの眼の健康を守るために日々努力しております。

眼科での仕事は?

医師の指示のもと、視力検査、眼圧検査といった一般的な眼科検査を行っています。眼科検査には視力、眼圧の他にも視野、屈折、調節、色覚、光覚、眼位、眼球運動、瞳孔、涙液など様々な内容の検査があり、的確なデータを提供して診療をサポートしています。

また、斜視や弱視など視機能に障害をもつ患者さまに対して専門性を要する検査や訓練治療なども行っています。



笑顔のマイ★スター



いつも元気に笑顔で働くミツを教えてもらって、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです。ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。



5月30日
済生会創立記念日



第4代総裁

たかまつのみやのぶひとしんのつひ
高松宮宣仁親王妃喜久子殿下による御書



「済生」とは「生命を救うこと」という意味があります。

明治 44 年 2 月 11 日に明治天皇から総理大臣・桂太郎に勅語を賜りました。これが「済生勅語」というもので、済生会設立のきっかけとなりました。済生勅語の中で天皇陛下は、「大臣（桂太郎）は天皇の意をくみ、よろしいようにして永遠に庶民を救うものをつくるように」ということをおっしゃいました。当時、救済のための勅語というのは大変珍しいものだったそうです。この勅語により、桂総理大臣は、早速恩賜金 150 万円を拝受し、それを基に寄付を集めて「済生会」を設立しました。その日が、明治 44 年 5 月 30 日のことでした。

明治 44 年は日露戦争が終戦した後でした。戦争で夫や息子を亡くし生活に困っている多くの市民と、戦争でお金を儲けた者との貧富の差が激しく、国は退廃していました。そのような中で、済生会は民衆を救う事業として設立されました。

【参考】済生会ホームページ



市民公開講座
「健やかに生き、安らかに逝く」



平成 26 年 6 月 14 日（土）、日本尊厳死協会副理事長、元・埼玉社会保険病院名誉院長の鈴木裕也先生による、地域住民・医療関係者を対象とした公開講座を開催しました。今回は「健やかに生き、安らかに逝く」と題して、長年、尊厳ある看取りを提唱してきた鈴木先生に、人間の命・一生の捉え方や終末期医療の在り方、などについて講演頂き、約 130 名と多くの方々が参加されました。

タイトルの「健やかに生きる」というテーマでは、高齢者にとって健やかに生きるとは、「平均寿命と健康寿命の差を短くすることが大切」とお話しされました。先生曰く、「人は、常に何かを考え、何かを求め、何かを行いつつ、納得のいく時間（人生）を過ごすことが重要」ということでした。その中で話された「教養とは：今日、用があること」「教育とは：今日、行くところがあること」という先生の解釈論に、会場のみなさんは感心したようにうなずきながら聞き入っていました。「安らかに逝く」というテーマでは、延命治療の是非、尊厳死の説明、在宅医療の問題、「看取る」と「見捨てる」の違いの説明、治療行為中止に関する勧告や指針の共通概念などを通して、尊厳死に対する現状と今後の課題・傾向性についてお話しされました。またこの講演の一番の趣旨である、健やかに生きる権利、安らかに死ぬ権利を自分自身で守るために、「リビングウィル（本人が意思表示出なくなった時のためにも、自分の終末期医療に対する自分の考えを表し伝えておくもの）」の重要性について講演頂きました。最後は質疑応答の時間が設けられ、時間をオーバーするほど多数の質問が飛び交い、盛況のうちに終了となりました。



第1回がん患者集会とちぎ
「がんになっても安心して人生を送れる社会を目指す」



がん患者さまとご家族の手形

平成 26 年 3 月 16 日（日）、“がんになっても安心して人生を送れる社会を目指す”をテーマに、「第1回がん患者集会とちぎ」が当院で開催され、200 名以上が参加しました。集会の実行委員長は、宇都宮市の整体師・坂本裕明さん（47 歳）。自身も 44 歳の時、上咽頭がんと診断され、入院直後に退社を余儀なくされた経験をお持ちです。「身をもって知ったサバイバー（経験者）の現状を知ってもらい改善したい」と、「がん患者支援ネットワーク」を立ち上げ、坂本さんの思いに賛同した、サバイバーや家族、医療関係者約 20 人が実行委員会を組織しています。

集会では、東京医科歯科大学の坂下千瑞子血液内科特任助教が「がんを経験した医師の私に今できること」と題して基調講演を行いました。サバイバーとは「がんを経験しながらも自分らしく行動し、力強く生きている生活者」のことだと説明し、がん征圧活動である「リレー・フォー・ライフ」の取り組みなどをお話しされました。シンポジウムでは、がん患者とサバイバー、医療関係者らが交流する、下野新聞 NEWS CAFÉ を拠点に活動中の「まちなかメディカルカフェ」（代表・栃木県立がんセンター平林かおる医師）の取り組みも紹介されました。

最後の質疑応答では、会場から、患者・サバイバーの置かれた状況がうかがえる貴重な意見・質問が出されました。日本人の 2 人に 1 人ががんにかかる時代に、がんとどう向き合っていくのか、みんな考えていくきっかけ作りになったのではないかと思います。



シンポジウムの様子



法定停電の実施



停電時に医療機器への仮設電源を準備している様子

当院では、毎年 5 月に全館停電を伴う自家用電気工作物定期点検を行っています。今年は 5 月 18 日（日）に、管財課の職員が中心となり、実施されました。

作業内容は、8 時～19 時の間で電気設備の清掃・増し締め・異常の有無の調査、及び設備の作動試験を行います。また、各ブレーカーごとの漏電の有無を測定し、必要に応じ是正を行います。これらの点検は電気事業法に基づき、病院で安全に電気をご利用頂くための点検です。

当院では、点検日当日に勤務予定の職員を対象に、事前の説明会を実施し、停電時の通常業務に支障が出ないように、細やかな連絡調整に努めています。

今後もこの点検を行うにあたり、皆様には大変ご不便をおかけするかと思いますが、ご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

INFORMATION
1

訪問看護ステーションほっとNEWS 日本財団の助成を受けて福祉車両を整備しました

訪問看護とは在宅での療養生活をサポートするために地域に出向いて行う看護です。現在、訪問看護ステーションほっとでは看護師10名、理学療法士2名が訪問看護を実施しています。ご利用者数は120人を超え、地域の皆さまのニーズに応えられるように日々努力しております。

昨年度は、職員の増員に際し、日本財団の助成を受けて車両を整備することができました。カラフルなデザインは利用者さまにも好評です。

今後は地域に根ざした信頼できる看護を目指し、私達の笑顔と安心を皆さまにお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

訪問看護ステーションほっと スタッフ一同



日本財団の助成を受けて整備した車両

INFORMATION
3

ホームページのご案内

当院ではホームページを開設し、さまざまな情報を提供しております。みやのわバックナンバーも公開しておりますので、ぜひご利用ください。



www.saimiya.com

INFORMATION
2

一般外来診療のご案内

受付時間 **8:30~11:00**

(予約患者さまの受付時間は、この時間限りではございません。)

診療科により受付時間が異なる場合がございますので、詳細はホームページまたは初診受付前設置の「診療部各科外来担当医師表」をご確認ください。受診科に関するご相談は、1階エントランスホール「総合案内」の看護師にお気軽にお声かけください。

**お盆休み期間中(8月13日~15日)も
通常通り*診療いたします。**

※土曜日午後・日曜日の一般外来は休診となります。
救急の患者さまは救急外来にて対応いたします。

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参して頂きますようお願いいたします。
(初診時に紹介状がない場合には、選定療養費3,000円+消費税をお支払い頂くこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。)お問い合わせやご質問がございましたら、総合受付までお尋ねください。

INFORMATION
5

栃木県からのお知らせ

とちぎ子ども救急電話相談
028-600-0099

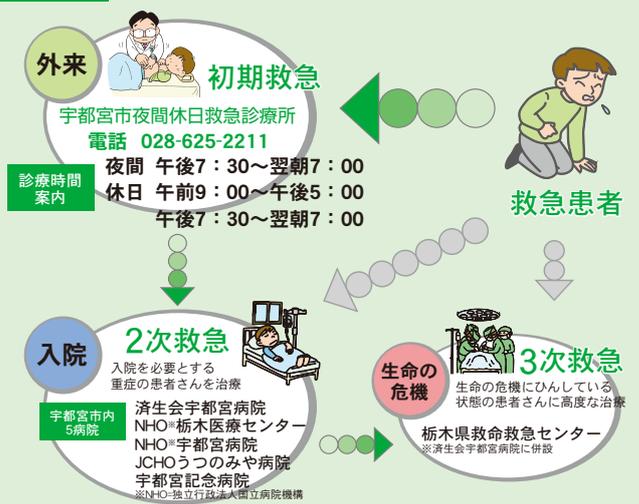
午後6:00~午後11:00(毎日)

お子さんの急な病気やけがで心配なとき、ご連絡ください。看護師が対応のアドバイスをいたします。



INFORMATION
4

栃木県からのお知らせ 救急医療体制のお知らせ

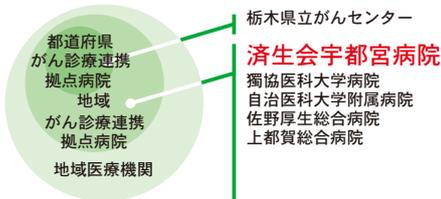


診療実績	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月
延外来患者数	30,931人	31,005人	29,243人
実入院患者数	1,333人	1,275人	1,288人
平均在院日数	12.5日	13.6日	13.6日
救命救急センター患者数	1,342人	1,096人	1,231人
救急車台数	468台	426台	428台
手術件数	575件	549件	535件

※平成26年度診療報酬改定により、平均在院日数の計算式が変わりました。

地域がん診療連携拠点病院

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関や他のがん診療連携拠点病院との連携を密にして、より良いがん診療を提供していきたいと考えています。当院では1階「がん相談支援センター/医療相談・看護相談室」で、専門的知識を有するスタッフが、がんに関するさまざまな質問や相談におこたえしています。



医療機能評価認定病院

医療機能評価とは、『財団法人医療機能評価機構』が医療機関の第三者評価を行い、質の高い医療サービスを提供していくための支援を行うことを目的としています。当院は、平成10年に栃木県で初めて認定を受け、以後5年毎に更新認定を受けております。最近では、平成25年2月に4回目の更新審査を受け、認定されました。



地域医療支援病院

地域医療支援病院は、他の病院または診療所から紹介された患者さまに対して医療を提供していること、医療機器などを地域の医療機関と共同利用できること、救急医療を担っていること、地域の医療従事者のために研修を行っていること、などの役割があり、都道府県知事の承認を受けます。当院は「地域と共に進化し続ける病院」のビジョンの下、急性期医療・救急医療を担い、ますます信頼される病院を目指していきます。

リレーエッセイ

釣りに魅せられて



薬剤部長
小林 義美

若い頃から兄に連れられて、近所の沼でフナやコイなどを釣って遊んでいました。それから様々な釣りを経験し、この病院に就職したところからヘラ鮒釣りの魅力にはまざりました。はや三十有余年が過ぎました。

ヘラ鮒釣りの最大の魅力は、四季を通じてその折々の釣りを楽しめることです。春には、思いもよらない大釣りの夢があり、夏には糸鳴りのする豪快な引きを堪能できる喜びがあり、秋には刻々と変わるタナ（泳層）を読みとる楽しみがあり、冬には浮子の微妙な変化を捉える繊細さを味わうことができます。

とはいえ、近頃はヘラ鮒も進化したのか、針のついた餌を喰わなくなりました。釣れないことがしばしばです。釣れないからと言ってカッカしてしまふと、さらに事態は悪く

なる一方です。そんな時は「Study to be Quiet」と自分の心に言い聞かせるのです。世界の釣り人のバイブルとして愛読され続けている『釣魚大全』の結びの言葉として、日本の釣り人達の間で広く引用されている言葉です。「ただ謙虚に穏やかに満ち足りた気持ちで過ごすことができる人こそが、幸いな人なのです。穏やかな気持ちでいれば、自分も、他も幸せになれる」と言うような意味だそうです。少し気持ちが落ち着きますが、それでも釣れないときは釣れないのです。



ちょこっとメモ

7月12日

人間ドックの日

日本で1954年のこの日に国立東京第一病院（現・国立国際医療センター）で初めて人間ドックが行なわれたことを記念して、「人間ドックの日」と定められました。

「人間ドック」の「ドック(dock)」は、もともとは船の修理や検査をしたりする施設のことで、それを人間に当てはめて、人間も時々病院で徹底的に検査を受けて悪い所があったら治しましょう、という発想からきているそうです。

当院の健診センターでも人間ドックを実施しておりますので、今まで人間ドックを受けたことがない方も、病気の早期発見・早期治療のために人間ドックを受診してみてもはどうでしょうか。



みやのわ 編集スタッフのわ



みやのわを最後までお読みいただき、ありがとうございます。

6月7月は何と言ってもサッカーワールドカップ。皆さんもご覧になりましたか？日本代表選出メンバーへの期待も、グループリーグ敗退という残念な結果になりましたが、それでも監督とチームの絆には目頭が熱くなる場面もありました。4年後は、歓喜で胸を熱くしてほしいですね。

みやのわ編集スタッフも新メンバーが選出され、今号より編集に携わっています。私達も日本代表のチーム力に負けないよう、編集長を中心に、充実した、楽しく、そしてお役に立てる誌面づくりを心がけてまいりますので、今後もお手に取っていただけましたら幸いです。

また病院ホームページにもみやのわを掲載していきますので、こちらもぜひご利用ください。



URL: www.saimiya.com

済生会宇都宮病院理念

1. 医療サービス提供者として次の基本を守ります
 - ・安全で信頼性のある医療を提供します
 - ・医療を受ける方の権利と尊厳を尊重し、満足度の向上に努力します
2. 地域基幹病院として次の役割を果たします
 - ・地域医療の向上に貢献します
 - ・地域の医療福祉機関と密接に連携し、地域から頼られる存在になります

当院における患者さんの権利と責任

Rights & Responsibility

患者さんの権利 *Rights*

1. 個人として尊重され、適切な医療を受けること
2. 病気や治療の内容、および回復の可能性について、わかりやすい言葉や方法で説明を受けること
3. 手術や検査など重大な診療行為を受けるかどうかの判断に、必要かつ十分な説明を受けること
4. 治療方針の決定に主体的に参加し、自分の意思で治療を受けるかどうかを決定すること
5. 痛みを和らげるために、原因に応じた適切な治療、ケアを受けること
6. 他施設の医師に意見（いわゆるセカンドオピニオン）を求めること
7. 医療に関する個人情報保護され、プライバシーが守られること
8. 治療を継続するために、適切な医療機関の紹介を受けること
9. カルテ開示を求めること
10. 会計の内容について説明を受けること
11. 治療に納得がいかない場合は、自分の意思で退院すること
12. 診療行為において事故が発生した場合は、その内容を事実に基づいて、可能な限り詳細に説明を受けること

患者さんの責任 *Responsibility*

1. ご自身の病状について、正確に話していただくこと
2. ご自身の病気や医療行為の経過について気になる点があれば、スタッフに申し出ていただくこと
3. 同意された治療を受けるにあたっては、医療スタッフの計画や指示に基づき、療養していただくこと
4. 治療を受けない選択をされた場合、または医師の指示に応じない場合、それにより生じる医療上の問題には、ご自身の責任で対応していただくこと
5. 受けた医療に関する支払いには、速やかに応じていただくこと
6. 当院での入院治療が終了した場合には、医師の指示に基づき、速やかに退院または転院していただくこと
7. 他の患者さんや医療スタッフへの迷惑行為（大声、威嚇、暴言、医療行為の強要など）は行わないこと
8. 院内は禁煙のため、喫煙は院外の喫煙所を利用していただくこと
9. 面会時間、電子機器の取り扱いなど、院内の規則を守っていただくこと

当誌「みやのわ」では、読者の皆様からのご意見や感想をお待ちしております。

お名前等の個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿頂いても結構です。また、診療に関する個人的なご質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

はがき等の場合 〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1 済生会宇都宮病院 経営支援課
電子メールの場合 miyanowa@saimiya.com